



ひばりが丘小学校の授業の様子

ひばりが丘小学校（厚別区厚別中央2条4丁目）では、3年前から4年生を対象に、人から学ぶことを目的とした福祉教育に取り組んでいます。



ひばりが丘小学校 山崎孝行  
教諭

4年生担任の山崎孝行教諭は、「総合学習を受ける前の子どもたちは、障がい者に対し『かわいそう、助けてあげたい』というイメージを持っていました。」といいます。授業では、区の社会福祉協議会に紹介された視覚障がい者が講師に。「講師の話を聴いた後、子どもたちの様子

は一変しました。障がい者は特別な人ではなく、自分たちと同じ生活を送っていることに気づきます。人を思いやる気持ちや体験したことのない外の世界を知るきっかけになり、同情ではなく共感を学んだのです。」

体験したことを基に、児童一人ひとりにポスターを作成させ、札幌市社会福祉協議会主催の「人にやさしい福祉のまちづくりポスター」展に出展しています。（表紙参照）

◆ ◆ ◆

大谷地東小学校（厚別区大谷地東5丁目）でも、4年生が

# 共感する心を育む

厚別区内の小・中・高等学校で、総合的な学習の時間に「福祉教育」を取り入れています。

今号では、札幌市立ひばりが丘小学校（池田哲也校長）、札幌市立大谷地東小学校（斎藤拓也校長）の車いす体験、アイマスク体験などの授業、北海道札幌啓成高等学校（中西勝範校長）の赤ちゃんと触れあう授業を紹介します。



札幌啓成高校の授業の様子

福祉教育を学んでいます。

4年1組担任庄子美香教諭、2組担任寺岡克宏教諭は、福祉教育を取り入れるにあたって、区の社会福祉協議会に相談するなど入念な準備を行いました。

「事前学習としてヘレンケラーについて子どもたちに話しました。」と寺岡教諭。子どもたちは講師の話を聴いた後、実際に車いすに乗ったり、アイマスクをして歩いたりして障がい者の苦労を体験しました。「障がいのある講師が終始わかりやすく丁寧に話してくれる姿に、子どもたちだけではなく、一緒に聴いた私たちも感動しました。」と庄子教諭はいいます。

授業の後、この体験を一人ひとり新聞の形にまとめてもらいました。新聞では「車いす体験をして、ちょっとした段差があるだけで進めなくなることがわかった」、「元気だった人が事故などで一瞬にして車いす生活になってしまう」など、



大谷地東小学校 庄子美香教諭（上）と寺岡克弘教諭（下）

それぞれ感じたことが書かれていて、多くの子どもたちが衝撃を受けたことが伺えます。

授業で聞いた介助犬やバリアフリーの話に興味をもち、インターネットでくわしく調べた子どもたちもいました。同校では、さらに3学期にパラリンピックのことを授業で取り上げました。

同校の斎藤校長は「4年生は思考と行動が一致し始める時期。この時期に共感の心を育むことが大切です。」と話してくださいました。



「ほんわかしてやわらかー」女子生徒の歓声が上がります。札幌啓成高校（厚別区厚別東4条8丁目）が「赤ちゃんってすごい！」を授業に取り入れてから今年度が9年目。同校家庭科小田美穂教諭は、初回から関わっていらっしゃる大ベテランです。

自ら子育て中で、厚別区内の子育てサロンにも参加したことがある小田教諭は、「赤ちゃんと触れあうことで、将来自分が親になるイメージを持つことができる。赤ちゃんを見て、人間の発達と一人ひとりの違いを身を持って感じられることが授業の最大効果です。」といいます。

毎年理数科の生徒約40名が、同じ赤ちゃんと約半年の期

間を空けて、2回交流します。授業終了後、生徒たちは「普段小さい子と触れあう機会がないから、初めはどう接していいかわからなかった。でも2回目はずいぶん慣れました。」「半年でこんなに大きくなるなんてびっくりしました。」「自分が赤ちゃんを産んだときのイメージがわきました。」と話します。

「この体験で生徒たちの表情が柔らかくなつたことがわかります。卒業生が母親として授業に参加してくれたこともあり、うれしく思いました。」と小田教諭は目を細めます。

厚別区役所で子育て支援を担当する岡徳美さんは、「特に男子生徒は、初めは赤ちゃんとどう接していいか戸惑うことが多いですが、一度慣れるととてもかわいがってくれます。お父さんが参加してくれたこともあり、男子生徒が父親からの話をとても興味をもって聴いていたのが印象的でした。」といいます。「今年度、区内では厚別西小学校、もみじの丘小学校でもこの授業を実施しました。新年度も多くの児童、生徒さんに赤ちゃんと接してほしいと思っています。」と岡さんは呼びかけていました。



札幌啓成高校 小田美穂教諭

## 学校の福祉教育をサポートします

厚別区社会福祉協議会では、車いすやアイマスクなど、福祉体験に役立つ機材を無料で貸出しています。また、講師の紹介も行っています。

### 【貸出機材】

車いす12台、高齢者疑似体験セット12セット、片マヒ疑似体験セット4セット、アイマスク、点字器など  
※貸出は2週間以内。使用料は無料。ただし、機材を破損・紛失した場合は、実費をいただきます。

【問い合わせ】厚別区社会福祉協議会 TEL 895-2483



ひばりが丘小学校のアイマスク体験



大谷地東小学校の車いす体験



札幌啓成高校で赤ちゃんと触れあう男子生徒

## 「赤ちゃんってすごい！」

少子化、核家族化の中で、赤ちゃんと触れあう体験の少ない若い世代。赤ちゃんとの触れ合いを通じて、命の尊さ、男女ともに育児に関わることの大切さを理解してもらうため、厚別区役所では「赤ちゃんってすごい！」という事業を行っています。

事前に募集した0歳児の赤ちゃんとお母さんが学校を訪問し、児童・生徒たちと触れあう事業です。

【問い合わせ】厚別区健康・子ども課 子育て支援担当係 TEL 895-2514